

年間指導計画表

教科・科目	地歴科・世界史A	単位数	2単位
		学科・学年・学級	普通科・2年・理系、創造表現

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
使用教科書・副教材等	①教科書：山川出版社『現代の世界史』 ②資料集：第一学習社『グローバルワイド 世界史図表 改訂版』

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・ノート提出	30%
b. 思考・判断・表現	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査	20%
c. 技能	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・課題提出 ・ノート提出	10%
d. 知識・理解	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・ノート提出 ・定期考査	40%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	20	【一体化に向かう世界】 ●諸地域世界の特質	○中国文明の起源・国家の変遷と、日本を含む東アジア諸国との関係を理解する。	○	○	○	○
	○インド・オリエント・イスラーム文明の成立と発展について理解する。			○	○	○	○	
	5		●大航海時代	○地中海一帯の古代文明から中世ヨーロッパ世界が形成され、発展したことを理解させる。	○	○	○	○
	6			○ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服、それに伴うヨーロッパ社会の変革の動きを理解する。	○		○	○
7		〈第一回考査〉						
8		●アジア諸国の繁栄	○中国、イスラーム帝国の動向、社会・文化の特質とともに東アジア世界の状況、東南アジア交易の発展を考察する。	○	○		○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期 / 後期	9	16	●近代の欧米社会	○イギリス産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命及びナポレオンが近代社会に与えた影響について理解する。 ○ウィーン体制の成立と崩壊、自由主義とナショナリズムの運動及び国民国家の形成過程について理解する。	○	○		○
	10		●ヨーロッパの進出とアジア 〈第2回考査〉	○ヨーロッパ諸国の進出をうけたアジア諸国での抵抗運動、植民地化の様子を考察できるようにする。	○	○	○	○
	11	14	【現代世界と日本】 ●帝国主義とアジアの民族運動	○帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。 ○欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。	○	○	○	○
	12		〈第3回考査〉					
後期	1		●二つの世界大戦	○第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらしたことを理解する。 ○第二次世界大戦に至る過程と米ソの国際的地位の高まりを理解する。	○	○	○	○
	2		●冷戦の時代	○冷戦の激化、第三世界の台頭と米ソの歩み寄り、冷戦の終結を理解させる。	○		○	○
	3	20	●グローバル化した世界 〈第4回考査〉	○1990年代のグローバル経済の進展を理解する。また世界で多発する地域紛争とテロ、紛争解決や軍縮の試みを考察する。	○	○	○	○
【その他】								